

渡良瀬川がつなぐ場所

渡良瀬川がつなぐ、上流域の足尾の「昔」を振り返ってみましょう。

第1部

2024年9月8日(日)

足尾 講演会

講演会 13:30 ~ 15:30

講師 多島信彦氏 足尾銅山の世界遺産登録を推進する会副会長

演題 「足尾銅山の歴史に名を刻む人たち」

映像 「昭和初期の足尾銅山」

- 場 所 足尾公民館 (日光市足尾町通洞 8-2 足尾行政センター 2F)
- 募集定員 30人
- 参加費 無料

足尾銅山は400年の歴史を残していますが、この間、紆余曲折を繰り返しながら多くの人たちによって大銅山として時を刻んできました。

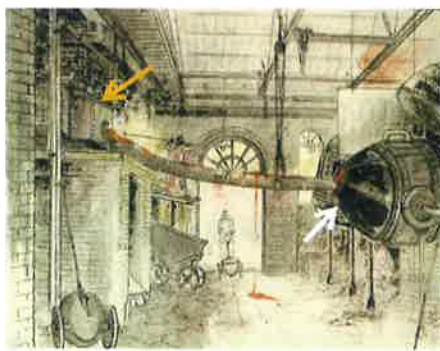
この講演会では足尾銅山の開発に「この人がいなかったら」と思える人物を私見を交えてお話しさせていただきます。

申込 締切9月2日(月)
足尾に緑を育てる会 ☎0288-93-2180
ホームページからも申込可能です。→



明治26年の写真
ベッセマー転炉はすでに完成している時期の写真である

資料 木村長七傳



ベッセマー転炉導入時の鍊鋼工場内部
矢印黄色はキューボラ炉(培軟炉) 矢印白はベッセマー転炉
資料 足尾銅山園繪

第2部 佐野地域
裏面をご覧ください



足尾銅山図絵より「坑内の作業」



作業デー 9/14(土)15(日)、10/19(土)20(日)、11/16(土)17(日)

※ 植樹地の草刈り、抜根作業を中心に行います。

渡良瀬川がつなぐ場所

渡良瀬川がつなぐ、
下流域の「昔」と「今」を歩いてみましょう。



第2部

2024年9月29日(日)
渡良瀬遊水地周辺

フィールドワーク

〈渡良瀬遊水地周辺をめぐり、コウノトリとの共存を考える〉

渡良瀬遊水地は2012年にラムサール条約の登録湿地となり、自然と歴史の調和する新しい内容の活用計画が模索されている中、コウノトリの繁殖はこれまでの渡良瀬遊水地のイメージを大きく変えています。そこでかつて谷中村のあった史跡保全ゾーンの散策や隣接する「渡良瀬遊水地コウノトリ交流館」を訪ねてコウノトリとの共存を考えてみたいと思います。

渡良瀬遊水地へのアクセス



★:北エントランス ★:中央エントランス



- 日時 2024年9月29日(日) 10:00～16:00
- 集合場所 渡良瀬遊水地谷中村史跡保全ゾーン駐車場 雨天決行
- 受付 9:45～10:00 ※北エントランスの開門は9:30ですのでご注意ください。
- コース 史跡保全ゾーン駐車場(10:00発)→道の駅「かぞわたらせ」→三県境→谷中村役場跡・延命院跡→体験活動センターわたらせ(昼食)→渡良瀬遊水地コウノトリ交流館→さくら堤→田中霊祠→史跡保全ゾーン駐車場(16:00着予定)
- 募集定員 40人(定員になり次第締切)
- 参加費 2,000円(昼食代、資料代、保険料を含む)
- 持ち物 飲料、雨具、帽子、タオルなど
- 申込 締切9月20日(金)下記まで
ホームページからも申込可能→



第1部 足尾地域
裏面をご覧ください